

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間令和6年1月23日
北海道開発局

同時発表：北海道運輸局

共同輸送・中継輸送を考えるシンポジウムを開催します

～北海道の物流と地域の将来^{あす}を考える2日間～

北海道開発局では、「生産空間」を支える物流のサービス水準確保を目的に、実証実験を重ね、「共同輸送・中継輸送実装研究会」（別紙3参照）を設立して検討を進めてきました。その結果を踏まえ、北海道における共同輸送・中継輸送に重要な「場所」と「仕組み」の実装に向けて、パネルディスカッション等を通じて、北海道の物流と地域の将来（あす）について考えます。

※なお、地域を支える効率的な物流システムの構築には多角的な検討が必要なため、本シンポジウムは翌日開催される経済産業省・北海道経済産業局主催の「北海道地域フィジカルインターネット懇談会」と連携しています。

- 1 日時 令和6年2月19日（月）14時00分から17時00分
 - 2 場所 アスティ45 4階ホール（札幌市中央区北4条西5丁目1）及びオンライン配信
 - 3 内容
 - ・2024年問題とその背景（北海道運輸局）
 - ・今年度事業の成果報告（北海道開発局、名寄市、ヤマト運輸（株）ほか）
 - ・パネルディスカッション
「北海道における共同輸送・中継輸送の実装に向けて～「場所」と「仕組み」～」
（北見工業大学地域未来デザイン工学科教授 高橋清氏、北海商科大学商学部商学科教授 相浦宣徳氏、名寄商工会議所、ヤマト運輸（株）、北海道開発局）
 - 4 参加費 無料
 - 5 申込方法
 - ・参加を希望される方は、2月14日（水）18時までに次のURLから申し込み願います。申込フォーム：<https://forms-mlit.jp/sympo2024-2>
 - ・取材を希望される方は、2月16日（金）12時までに取材申込書（別紙4）に必要な事項を記載の上、hkd-ky-seisankuukan@gxb.mlit.go.jpまで申し込み願います。
- ※ご提供いただいた個人情報は当日の参加確認に使用させていただき、他の目的には使用いたしません。



目前に迫る2024年問題を多様な関係者が協力して共に乗り越えるため、2月19日（月）～22日（木）にかけての1週間を「北海道物流WEEK」とし、各種イベント等を連動して開催することで、課題を共有するとともに、将来に向けた想像力を喚起することを目指します。

※「共同輸送・中継輸送実装研究会」のこれまでの取組状況について

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/keikaku/slo5pa0000014h1i.html>

※「生産空間」について

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/keikaku/splaat0000013gzk-att/splaat0000013h6g.pdf>

※北海道フィジカルインターネット懇談会（経済産業省）

https://www.nri.com/jp/news/event/1st/2023/mcs/physical_internet/1130

【問合せ先】

国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

開発監理部 開発調整課 開発企画官 三岡 照之（内線5472）

開発監理部 開発調整課 開発専門官 島山 浩和（内線5477）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



共同輸送・中継輸送を考えるシンポジウム

次 第

日 時 : 令和6年2月19日(月) 14:00~17:00

場 所 : アスティ45 4階ホール(札幌市中央区北4条西5丁目1)
及びオンライン配信

主 催 : 国土交通省北海道開発局・北海道運輸局

1 開会

2 主催者挨拶

3 2024年問題とその背景(北海道運輸局)

4 今年度事業の成果報告

(1) これまでの検討経緯(北海道開発局)

(2) 「場所」に関する取組

- ・ 道の駅等における実証実験(北海道開発局)
- ・ 名寄市における物流・防災拠点化構想(名寄市(WEB))

(3) 「仕組み」に関する取組

- ・ 『北海道流』物流マッチングモデル「ロジスク」(北海道開発局)
- ・ リレイプレイス構想(ヤマト運輸(株))

(4) デジタル技術による物流の可視化の取組(国土交通省北海道局)

5 休憩

6 パネルディスカッション

テーマ: 北海道における共同輸送・中継輸送の実装に向けて

～「場所」と「仕組み」～

ファシリテーター: 北見工業大学地域未来デザイン工学科教授 高橋清 氏

ゲスト: 北海商科大学商学部商学科教授 相浦宣徳 氏

パネリスト: 名寄商工会議所会頭 藤田健慈 氏

ヤマト運輸(株)北海道統括ゼネラルマネージャー 菊池誠 氏

北海道開発局旭川開発建設部長 岩下幸司

7 閉会



「競争」から「協調」・「共創」へ

北海道の物流と

あす

地域の将来を考える2日間

国土交通省

(北海道開発局・北海道運輸局)

経済産業省

(北海道経済産業局)

が連携

1日目
2月19日

インフラから考える物流

国土交通省 (北海道開発局・北海道運輸局)

共同輸送・中継輸送を考えるシンポジウム

- 2024年問題とその背景 (北海道運輸局)
- 今年度事業の成果報告 (北海道開発局)

- これまでの検討経緯
- 「場所」に関する取組
道の駅等における実証実験
名寄市における物流・防災拠点化構想
- 「仕組み」に関する取組
『北海道流』物流マッチングモデル「ロジスク」
リレイブレイス構想
- デジタル技術による物流の可視化の取組

■ パネルディスカッション

テーマ：北海道における共同輸送・中継輸送の実装に向けて～「場所」と「仕組み」～
登壇者：北見工業大学地域未来デザイン工学科教授 高橋清 氏
北海道商科大学商学部商学科教授 相浦宣徳 氏
名寄商工会議所、ヤマト運輸(株)、北海道開発局

地域物流を守るためには、関係者の協力と想像力が重要です。

2日目
2月20日

産業から考える物流

経済産業省 (北海道経済産業局)

北海道地域フィジカルインターネット懇談会

- 道内事業者の物流実態及び共同化の可能性分析 (野村総合研究所)
- 経済産業省による実証事業報告 (経済産業省・実証事業者)
 - 物流情報の電子化・データ連携促進
 - 小売業の発注DX (在庫管理・需要予測)

■ 政策に関するご紹介

■ パネルディスカッション

テーマ：北海道における持続可能な物流のあり方～業種の枠を超えた共同配送へ～
登壇者：北海道商科大学商学部商学科教授 相浦宣徳 氏
北見工業大学地域未来デザイン工学科教授 高橋清 氏
イオン北海道(株)、国分北海道(株)、F-LINE(株)

日時 2月19日(月) 共同輸送・中継輸送を考えるシンポジウム
2月20日(火) 北海道地域フィジカルインターネット懇談会
いずれも14:00～17:00

場所 いずれもアスティホール (アスティ45ビル4階)

「2024年問題」を共に乗り越えるまで

※セミナー1日目(2月19日)8:00から4月1日0:00までの時間

残り

1,000
時間

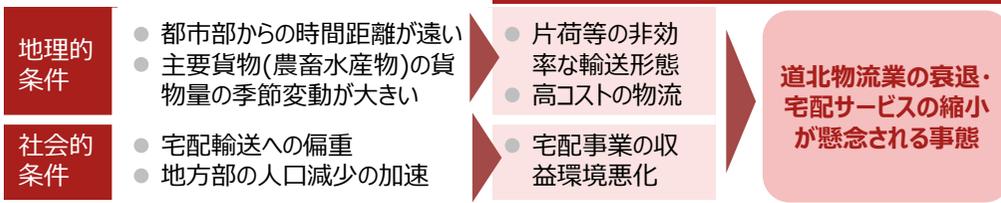


地域を支える効率的な物流システムの構築には、産業面から、それを支えるインフラ面からと多角的な検討が必要のため、北海道開発局・北海道運輸局・北海道経済産業局の道内3機関が連携して、検討を進めています。

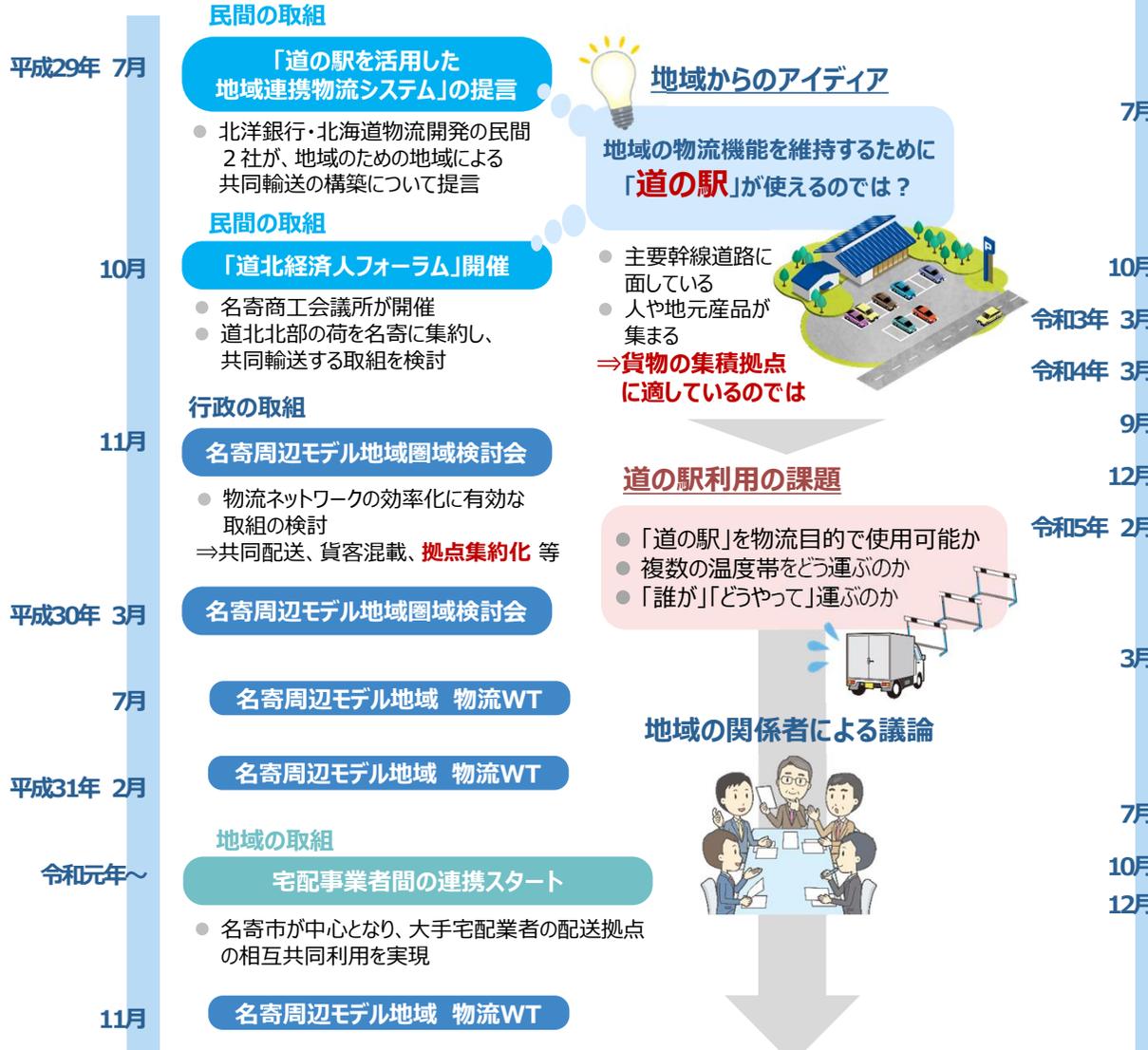
協力：日本物流学会・北海道商工会議所連合会・北海道通運業連合会・北海道トラック協会

共同輸送・中継輸送実装研究会の経緯 道北の物流課題解決に向けた検討と取組

道北地域の恒常的な物流課題



名寄周辺を核として課題解決に向けた検討と取組がスタート



令和2年

共同輸送実証実験

- トラック運行状況、積載物の状況、積載率からトラックの空きスペースを利用した混載輸送の可能性を確認し、『道の駅トラック時刻表』を作成
- 時刻表を活用し、道の駅「もち米の里なよろ」を物流拠点として、名寄以北の共同配送を試行



共同輸送の調査・試行によって道の駅の「物流拠点」としての利用可能性を検討

新たな物流課題

- トラックドライバーの不足
- 2024年問題

「道の駅」等を活用した小ロット貨物の効率化や中継輸送の実証・可能性検討、道北物流調査

地域の取組

道北圏域ロジスティクス総合研究協議会 設立

- 地元民間企業を中心とした検討体制も構築

名寄周辺モデル地域 物流WT

名寄周辺モデル地域 物流WT

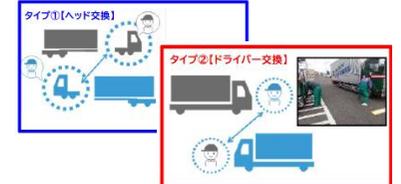
名寄周辺モデル地域 物流WT

名寄周辺モデル地域 物流WT

名寄周辺モデル地域 物流WT

名寄周辺モデル地域 物流WT

中継輸送実証実験



- 「道の駅」において、様々な中継方式（ヘッド交換・ドライバー交換等）/輸送経路で中継輸送の実証実験を実施。効果を確認。

産学官の取組

「共同輸送・中継輸送実装研究会」設立

- 持続可能なシステムとするために、より多くの民間事業者の参画を求めながら、マッチングの仕組みづくりの検討・実証を行う

「ロジスク」誕生

道北ロジスク in旭川

道央ロジスク in札幌

- 物流課題や、共同輸送・中継輸送したい品目・ルート等について、物流事業者同士が少人数のワークショップで話し合える場を提供



北海道開発局 開発監理部 開発調整課 あて

(Mail: hkd-ky-seisankuukan@gxb.mlit.go.jp)

取材申込書

取材を希望する場合は、この様式により上記連絡先までメールでお申し込みください。
申込締切りは、2月16日(金) 12時までです。

会社名及び部署名

取材者 役職・氏名（全員の役職・氏名を記載願います）

①（代表者）

②

③

連絡先（代表者の連絡先）

テレビカメラの持ち込みの有無

（該当するものに○をつけてください） 有 ・ 無

※ご提供いただいた個人情報は、当日の参加確認に使用させていただき、他の目的には使用いたしません。

2/19（月）～22（木）の期間を「北海道物流WEEK」とし、行政機関・関係団体・事業者等が連携して「2024年問題」を共に乗り越えるためのイベント・取組を開催。



第1便

北海道の物流と地域の将来を考える2日間

2/19（月）14～17時@アスティ45 国土交通省（北海道開発局・北海道運輸局）

「共同輸送・中継輸送を考えるシンポジウム」

2/19（月）
～20（火）

2/20（火）14～17時@アスティ45 経済産業省（北海道経済産業局）

「北海道地域フィジカルインターネット懇談会」

（各機関のホームページをご確認ください）

第2便

北海道の物流と地域の将来を考える実証実験

2/21（水）
～22（木）

JR貨物×北海道通運業連合会の共催による

モーダルコンビネーション推進に向けた新たなチャレンジの2days

第3便

トラック運送業者連携・共創の集い in十勝

2/21（水）

北海道運輸局・北海道開発局の共催によりマッチングイベントを開催

（詳細は後日公表）

第4便

北海道トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会

2/21（水）

北海道運輸局・北海道労働局・北海道トラック協会の共催により開催

（詳細は後日公表）

第5便

北海道物流研究会

2/22（木）

※物流問題の課題解決と新たな北海道物流ネットワークの構築に向けた検討を行うため、イオン北海道(株)、(株)西友、(株)トライアルホールディングス、北雄ラッキー(株)など趣旨に賛同する14社で令和5年5月に発足